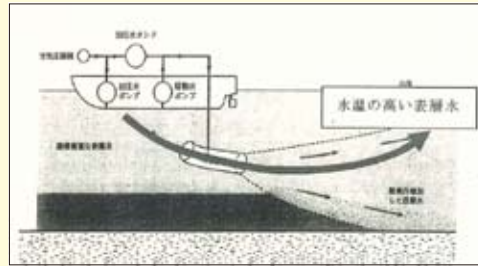


長良川河口堰 視察



現在、長良川ではDO対策船を運用しています。「流動法式」を原理とし、船上で水質浄化を行うように改良されたものです。送り込まれた表面の水は底面の水と混合し貧酸素を解消するのです。水中の酸素濃度が高い方がきれいな水が保てるそうです。水温躍層が存在する場合は、水流にて躍層を破壊し効果を得ることも出来るそうです。

今、話題の羽のない扇風機と近い原理で水質浄化する船です。



烏居松沈殿池と鍋屋上野浄水場

視察



鍋屋上野浄水場は、名古屋で最初に造られた近代水道施設のうちのひとつです。

鍋屋上野浄水場にて

第一ポンプ所は、意匠を凝らした名建築であり、昭和60年「近代水道百選」に選ばれ、平成4年まで稼働し、現在、工事中です。

平成26年の「名古屋市水道通水100周年」の完成を目指しているそうです。

鍋屋上野浄水場は、現在主流の急速ろ過方式とともに、「緩速ろ過方式」も残されているため、その前段階として、予め不純物を沈澱させ取り除いておくための沈澱池(烏居松沈殿池)が必要となるそうです。



烏居松沈殿池にて

烏居松沈澱池では犬山取水場から取水した木曾川の原水のなかの不純物を沈澱させ、きれいになった上水(水面に近い上層部)を鍋屋上野浄水場まで流しています。